

## 第 20 回生コン技術大会 発表論文申込書（記載例）

発表区分※1	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">1.</span> 一般研究論文      2. 日常業務の改善事例等      3. 調査報告				
発表題目名	高周波加熱法による単位水量の迅速推定における不確かさについて				
著 者（5名まで）※2			所属工業組合名	所属グループ名 (協組・試験場・企業・学校等)	
発表者	氏 名	ふりがな			
○	水野 幸司	みずの こうじ	〇〇生コンクリート工業組合	× × 生コンクリート共同試験場	
	子安 四郎	こやす しろう	同 上	□□大学工学部建設工学科	
	清原 健二	きよはら けんじ	同 上	〇〇工組技術センター	
	寺井 礼司	てらい れいじ	同 上	◎◎生コン工組共同試験場	
	前田 繁治	まえだ しげはる	同 上	△△生コンクリート株式会社	
概要（200字程度）※3 本研究は、単位水量の迅速推定方法である高周波加熱法 について、測定の不確かさの要因抽出及び見積を行い、推定値の信頼性を評価することを目的として実施した。高周波加熱法の不確かさの要因として、はかりの精度、細骨材の吸水率、過大粒・過小粒、サンプリング量、繰返し誤差及び個人誤差を挙げ、室内実験を実施し検討した結果、合成した不確かさは $3.4\text{kg/m}^3$ 、拡張不確かさは $6.8\text{kg/m}^3$ となった。現在、トラックアジテータから排出されたコンクリートを用いた場合について追加の検討を行っており、原稿に反映する予定である。					
	氏 名	所属連絡先名※5	TEL 番号	FAX 番号	メールアドレス
申込者 ※4	前田 繁治	△△生コンクリート株式会社	(00) 1234-5678	(00) 1234-5679	〇〇@〇〇.co.jp
発表者	水野 幸司	× × 生コンクリート共同試験場	(00) 8765-4321	(00) 9765-4321	〇〇@〇〇.ne.jp
通信欄	既発表の内容を一部含んでいます。 ・単位水量の迅速推定方法に関する研究；セメントコンクリート論文集 No.〇〇, pp.〇〇～〇〇 ・単位水量迅速推定方法の不確かさの要因について；コンクリート工学誌 Vol.〇〇, No.〇, pp. 〇〇～〇〇				

※ 1) 発表の区分は 1～3 の該当する番号に○をつけること

※ 2) 著者 5 名のうち 発表者の氏名の前に○をつけること

※ 3) 結論が出ていない場合は途中経過を記すこと

※ 4) 申込者欄には著者のうち執筆内容に対し回答が可能な人名を記入のこと（組合員並びに工組・協組の役職員に限る）

※ 5) 所属連絡先名は主在勤の勤務先名を記入すること